

## キノコの世界



キノコといえばマツタケが代表選手で、「ならやま」では50年ほどまえにはたくさんとれたそうですが、今では一本も見つかりません。しかし秋に山の中に入るといろいろなキノコに出会えます。

食べられるキノコ、食べてもおいしくないキノコ、毒のあるキノコなどあります。ここにのせているキノコは食べられるキノコですが、形がよく似た毒キノコもありますので、山に生えているキノコは絶対に食べないようにしましょう。



シイタケ



かれたコナラの丸太を利用して、林の中で作っています。毎年、2月ごろに子供たちにシイタケ菌(きん)を植え込んでもらっています。春と秋の2回とれます。



エノキタケ

秋の終わりごろから冬や春の寒い時期に、コナラの切り株で時々発生します。何本もかたまって生え、黄褐色です。スーパーマーケットで売っているのは、室内でさいばいされたものです。



ヒラタケ

秋の終わりから冬にコナラの切り株や倒れた太い幹に発生します。灰色(時にかっ色や青色がかかる)のキノコで、かさの長さが10cm前後、何段にも重なって生えます。



マツオウジ

夏から秋にかれたマツの幹にあらわれます。かさの直径は5~10cmで、時には20cmのものもあります。かさは白色やうすいっかっ色です。



## キノコの世界



スーパーマーケットに行くと、シイタケやエノキタケなど人工的にさいばいされたキノコが並んでいますが、山に入るとコナラなど枯れ木の上で、食べられる自然のものがいろいろ見つかります。探してみましょう。

ただし、よく似た毒キノコもありますので、見るだけで食べないで下さい。



ハナビラニカワタケ

夏から秋にコナラのかれた枝に発生します。

うすくてかっ色のくねくね曲がった花びらのようなものが何枚も重なっています。店で売っているキクラゲに形がよく似ています。



ムラサキシメジ

秋に里山林内の地面から顔を出します。

うすい紫色で何本ものキノコが輪になります。かさの裏は紫色がもっとこいです。



シロキクラゲ

夏から秋にコナラのかれた枝でときどき見つかります。

ハナビラニカワタケに形はよく似ていますが、キノコの色は白色です。



ヤマブシタケ

夏の終わりから秋にコナラのおおれている木や切り株に発生します。

白くて針のかたまりのような変わった形をしたキノコです。



ハタケシメジ

秋に地面からによつきりあらわれます。

かさの直径は2~10cmでオリーブ色がかったかっ色です。何本もいっしょにかたまって生えます。



ヌメリスギタケ

2018年の秋にコナラの丸太で見つかりました。

黄かっ色のキノコで何本もかたまって生えます。



## キノコの世界

形や色でおいしそうに見えても毒があって絶対に食べてはいけないキノコ、食べない方がよいキノコもたくさん生えています。



ツキヨタケ

夏から秋にコナラのかれ木の幹に並んでいます。形や色はシイタケそっくりですが、**毒キノコ**ですので食べてはいけません。



ベニグチ

夏から秋に林の中の地面によく生えています。赤っぽい茶色で、かさのまわりは黄色です。**食べられるかどうかは分かっていません。**



コテングダケモドキ

夏に林の中の地面から生えています。シイタケのように茶色ですが、かさのまわりに白いビラビラしたものがたくさんついています。**毒が強いので、絶対に食べないようにしてください。**



シロオニタケ

夏から秋に林や野原で地面から生えています。おまんじゅうのように丸くて真っ白ですが、**食べられるかどうかはまだ分かっていません。**

ドクベニタケ

夏から秋に林の中で地面にたくさん生えています。赤いのでよく目立ちます。**毒があるので食べてはいけません。**



ミドリニガイグチ

夏から秋に林の中の地面から顔を出しているのがたくさん見つかります。茶色からオリーブ色をした大きなキノコです。**毒キノコではありませんが、食べないようにしましょう。**



オニグチ

夏から秋に林の中の地面から生えています。白くて大きいキノコでおいしそうに見えますが、**口に入れないようにしてください。**



## キノコの世界

キノコと言えば、かさの開いたマツタケやシイタケを思いうかべますが、形がキノコらしくないキノコの仲間もあります。食べられないものがほとんどです。



キツネノタイマツ

夏から秋に林の近くの草原で、によつきり頭をもたげてきます。

うすいピンク色で細長く、筆の先のような形をしています。その筆の先には黒に近い赤い帽子のようなものがあります。



ヒイロタケ

キクイムシで枯れたコナラを切り倒して枝を積んでおくと、その表面にたくさん発生します。

厚い皮のようなキノコで、赤っぽいオレンジ色をしています。



カエンダケ

夏から秋に林の中で、かれた木の近くにあらわれます。赤色からピンク色で、指のような形をしています。毒が強くて、危険ですから絶対にさわらないようにしてください。



サンコダケ

夏から秋に林の中の地面からあらわれます。

3～4本のタコの足のようなものが立ち上がります。色はピンクから赤色です。



オオチャワンドケ

春から秋に畑の横につまられた堆肥(たいひ)の中から発生します。

茶色で、ふちが欠けたお茶わんのような形をしています。



ツチグリ

夏から秋に林の中のがけのような所にあらわれます。かっ色でミカンのような形をしています。じゅくしてくると皮をむいたように星形に広がります。



スッポンダケ

夏から秋に林の中であらわれます。土から顔を出した時は白いピンポン玉のようですが、やがて開いて筆の頭のような白いキノコがあらわれます。その頭の先にはオリーブ色のぼうしのようなものがあります。